日本勤労者山岳連盟　　2011年3月5日提出 （提出者　T.TUSHIMA ）

定例 山行報告書		地方連盟	青森県	ルート	
		山岳会名	青森勤労者山岳会	宮田口から651.8mP(展望所)往復	
山　名	東　岳	山　域	青森市郊外	天気	
山行期間	2011年2月20日(日)			曇り一時雪のち晴れ	
参加者名	CL H.ISOBEほかカンジキ 18名･スノーシュー1名･スキー3名　計22名				

コースタイム

合浦公園駐車場 7:35⇒⇒⇒新運動公園 8:10～8:30･････登山口駐車場 9:10･････見晴台 10:05～10:25
651.8mP『展望所』(反射板跡)11:08～12:00･････見晴台 12:20～12:40･････新運動公園 13:40･解散13:50

山行記録

集合場所の合浦公園の駐車スペースは、2/2利用した時、1月の大雪でとても狭くなっていた。今回は22人参加で駐車台数も多いので大丈夫かと心配したが(Kさんが事前に偵察に行ってくれた)『青森冬祭り』のおかげで除雪が行き届いていて、ゆったりと駐車できた。

7:35 合浦公園を出発し、一路、新運動公園へ。『青い森アリーナ』の屋外トイレを使わせていただいた後、又、車で敷地内をぐるりと半周するように進み、ちょうど『ため池』の辺りに駐車。身支度を整えてフェンスを乗越え、『ため池』前の道路に出た。ここで出発前のミーティング。この日が誕生日だったHさんに、プレゼントはないものの皆で『おめでとう』の拍手をして出発した。

Kさんを先頭に22人が長い列を作って林道を歩き始める。2月も中旬を過ぎて雪がしまり、歩きやすい。10分程進んで衣服調節をしていると、雪がちらちら降り出した。風もなく、空からまっすぐに舞い落ちるふわふわの雪は薄日の中で輝き、なかなか風情があった。(1月には連日の雪かきで、あんなにうんざりしていた雪なのに･･･)

林道を登山口に向かって進んでいると、道端に案内板があった。『東岳自然歩道案内図』と書いてある。いつ設置されたのだろう? 無積雪期には登山口の駐車場まで一気に車で行ってしまうとは言え、こんなに大きな案内板に気付かなかったとは･･･。案内図によると、標高400m付近の市街地がよく見える開けた所は『見晴台』、以前反射板があった651.8mPは『展望所』、旧採石場は『石灰鉱山跡』となっていた。

9:10 駐車場を通過し、傾斜の緩い登山道を進んで行く。栗畑を過ぎ杉林を抜けた辺りで登山道の左手を急登して尾根に取り付き、尾根上を進む。途中登山道と交わったりショートカットしたりしながら『見晴台』に到着、一休みする。

『見晴台』から、夏道は東に進んで小沢を渡り向かい側の尾根を登っていくのだが、今回は正面の大きな岩を左から周り込んで北側の尾根に取り付き、ダイレクトに651mPを目指した。ここもかなり傾斜がきつく、スキー隊は苦戦した模様だが、カンジキ隊は先頭集団の女性群がパワー全開で快適にブナ林を上っていき、11:08 651,8mP『展望所』に到着した。私はこのルートは初めてだったが、いつも上っていた夏道ぞいのルートより、距離も短く登りやすいと思った。

展望所付近はホワイトアウトで幻想的な雰囲気。スキー隊が遅れていること、684mPまで1時間では往復できないだろう事などを考えてCLとSLが検討した結果、今日はここまでということにして、昼食とする。風を避けて林の中で昼食を済ませ、集合写真を撮ろうと集まった時、視界がぱあっと開けて眼下に陸奥湾が広がった。雲の合間から見えてきた青空に霧氷の白さが映え、とても美しかった。景色に見入ったりカメラに収めた後、皆で集合写真を撮り、登りと同じルートを下山する。

途中、『見晴台』で展望を楽しんだり、スキー隊のギャラリーになったりしながら、のんびり新運動公園までの道を歩き、「今日は最高の誕生日でした。」というHさんの言葉に皆笑顔で解散した。